

平成28年度 平取ダム工程コスト検討委員会の
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言を頂くため「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 平成 29 年 2 月 1 日 (水) 13:00~14:15
2. 場 所 : 室蘭開発建設部二風谷ダム管理所 1F 会議室
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員
◎委員長(※50音順)

4. 審議結果

○審議内容

- (1)事業の進捗状況
- (2)平成28年度工事内容
- (3)コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・追加グラウトについては、基礎排水、揚圧力等の観測値を確認しながら適切に対処していきたい。
- ・伐採木の有効活用については他ダムの事例を踏まえ、有効であれば検討していきたい。
- ・放流警報装置については、現地調査結果を踏まえ、適した仕様を採用していきたい。

【今年度以降のコスト縮減】

- ・仮設工(作業床)の見直し
- ・伐木材の無料配布
- ・堤体材料の廃棄岩の有効活用について
- ・地すべり対策工法の見直しについて

○主な意見

- ・現場条件を鑑み受注者と協議を重ね、コスト縮減に取り組んでいることが伺える。また、敷鉄板の転用についても合理的な考えである。
- ・受注者との会議議題にコスト縮減を盛り込むことにより発注者、受注者双方のコスト縮減への意識が変わると思うので、協議できるような仕組みづくりが出来るとうい。
- ・廃棄岩の活用について、現場内で発生したものを如何に無駄なく使用できるか考えられた結果であると思う。現場内で再利用を行うことによりCO2削減の副次的な効果もあったと思われる。